

低線量被ばくのリスクは 何故 過小評価されるのか

～国会事故調査でわかったこと～

放射線を知ることで、少しでも被ばくを少なくする生活を考えます。

日時：11月17日(日) 午後2時～4時

場所：あんさんぶる荻窪 第1～3教室
(荻窪5-15-13)

講師

医学博士 元国会事故調査委員 現高木学校
さきやま ひさこ

崎山 比早子 氏



- プロフィール -

千葉大学医学部卒、マサチューセッツ工科大学研究員、放射線医学総合研究所主任研究官を経て、1999年から高木学校のメンバーとなる。国会事故調査委員として「低線量放射線の健康影響」を担当、報告書を書く。著書「母と子のための被ばく知識」(共著)新水社など。

対象：区内在住、在勤、在学の方

定員：40名

費用：無料

申込み：電話にて、10/21から(申込順)

託児あり

2歳～就学前、定員6名

託児保険料100円

※託児の申込みは、
11/15まで



申込み
問合せ先



すぎなみ環境情報館

〒167-0051 杉並区荻窪5-15-13



3398-3191

企画運営：NPO法人すぎなみ環境ネットワーク

(HP ⇒ <http://www.ecosuginet.jp/>)